

備前市事務事業評価表

事務事業名	日生ごみ処理施設維持管理事業		コード	01-01-14-11
			担当課・係	市民福祉課 環境衛生係
			担当者	原田 尚美
事業実施期間	昭和53年度～		電話	72-1104
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	ごみ処理		

事業について	
目的 (何のために)	一般廃棄物の焼却を除く処理業務について、適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全に努める。
対象 (誰・何を対象に)	一般廃棄物の処理を必要とする、すべての市民・市内事業者。
内容	適正かつ効率的に処理業務を行うため、施設を維持管理するとともに監理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
可燃ごみ処理量	289.0 t	325.4 t	
びん処理量	102.1 t	59.6 t	
生ごみ処理量	108.8 t	87.0 t	
不燃物処理量	167.6 t	158.6 t	
稼働日数	306 日	306 日	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	30,266	間接補助金等	23,849	直接事業費	23,849	間接補助金等	
	人件費	3,415	委託費負担	7,359	人件費	2,330	委託費負担	7,991
		市債		市債		市債		
合計	33,681	一般財源等	26,322	合計	26,179	一般財源等	18,188	
				合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.45 人	0.30 人	
結果指標名	ごみ処理量	ごみ処理量	
結果指標量	1,063	825	
単位	t	t	
対前年比	-	77.61%	0.00%
活動にかかるコスト	33,681,000 円	26,179,000 円	
単位当たりコスト	31,685 円	31,732 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	ごみ処理量の減量により、維持管理費の削減と生活環境の保全。		
成果指標名	t 当りのごみ処理コスト	式又は説明	事業費 / 年間ごみ処理量(t)
	17年度	18年度	
成果指標量	31,685	31,732	
対前年比	-	100.15%	0.00%
到達目標値	処理委託料の削減	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: )	妥当性評価 < A ~ E > B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	ダイオキシン類対策特別措置法の施行によって平成14年12月に焼却炉を閉鎖したものの、一時的に広域で焼却することにより処理を補充している。将来的には岡山県の備前ブロックごみ処理広域の計画があるが、現在のところ広域処理については協議中である。容器包装リサイクル法に基づき、分別・細分化によるごみの資源化を行っており、ごみ焼却量の減量に努めている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A ~ E > C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	広域で焼却している燃えるごみ以外の燃えないごみをはじめ、持込ごみや資源ごみの前処理を行っているが、処理設備や備品の老朽化などにより作業効率が低下している。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 < A ~ E > B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	設備や備品の年次的な整備により作業効率を向上させるとともに、ごみ減量化が進み、ごみ処理量が減少すれば処理コストの軽減が期待できる。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 再資源化率のアップにつながるように市民に適正なごみ処理の啓発を行っている。
目標値	結果指標量	31732円/t	結果指標量
	成果指標量		

総合評価	備前市循環型社会形成推進地域計画に基づき、資源ごみのリサイクルセンターとして整備し、地域ごとに役割分担することによる効率的なごみ処理の実施。粗大ごみの有料化を早期に実施する必要がある。	評価区分 < A ~ E > B
------	--	------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	資源ごみの回収		家庭ごみの排出抑制および資源物のリサイクル
効率性	処理施設の計画的な維持管理		施設の維持管理費のコスト削減
有効性	施設管理の徹底		快適な生活環境の維持